発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番
編集発行人　平島敬治
三鉱労組印刷工場
三鑛労組機関紙

坑口閉鎖は認めぬ

「早く職場に復帰させろ」

小委員会四項目で對立

激闘九十四日、会社は遂に、指名解雇を拒否して闘つている千八百十五名の首切を完全に棚上げ（白紙撤回の意味）にすることを回答し、小委員會に移すことになつた。而し小委員会では「坑口閉鎖」の件で双方その主張を強調するのみで、何等解決のきざしがなく、下部大衆の闘争意欲と戦力を基礎として組合側主張の最底線として四項目の提案をなし、粘り強く「闘争」「交渉」を推進して來たが四項目では次の如く双方主張している。

坑口の閉鎖について

会社側は事業計画を認めてもらいたい。坑口閉鎖は直ちに実施したい。組合側は事業計画に反対であり、坑口閉鎖については各山で、もう一度閉鎖しなくて経営できるよう努力すべきである。どうしてもできない場合のみ組合が十分納得のゆくように説明し、双方で閉鎖するかどうかを協議決定すべきである。従つて現状では閉鎖することに反対であり、認められない。

職場復帰について

会社側は闘争が解決したからいつて協定成立当日、職場復帰し就労することに問題があり、只つ退職募集もあるので、その点を考慮し、協定成り以後適当な時期としたい。

組合側は闘争解決と同時に、平和な労使関係となるので、協定成立の日職場復帰「原職」とさせ、就労させるべきである。

会社は一方で退職募集をする一方で職場復帰はさせないということでは余り虫がよすぎる。

退職募集について

会社側は一般者よりの募集したい希望退職、組合側は過去に会社が行つた希望退職募集及び今回に係る希望退職募集等の個人の自由意志を束縛する行為をなし、強制募集となつている。従つて完全なる自己意志による者のみ認めるべきである。

事業計画について

会社側は「満配」と事業計画と関係している。例えば「満配」しても、それが事業計画を認めたからであるとは言えないし、会社の事業計画「配置転換」を含む」に反対であるから紛争「闘争」が起きているのである。

従つて各山の労使間で十分協議し決定すべきである。そのためには会社は十分なる説明を組合にすべきであり、その結果として具体化されるものとされないものとが決定されることになる。

会社側は「満配」になつたときとは事業計画に基く「満配」であるから次の配置転換に協力してほしい。且つ事業計画は全山ともに認めてほしい。

組合側は「満配」と事業計画と関係しているとは言えないし、会社の事業計画は全山ともに認めてほしい。

以上の前提に基いて

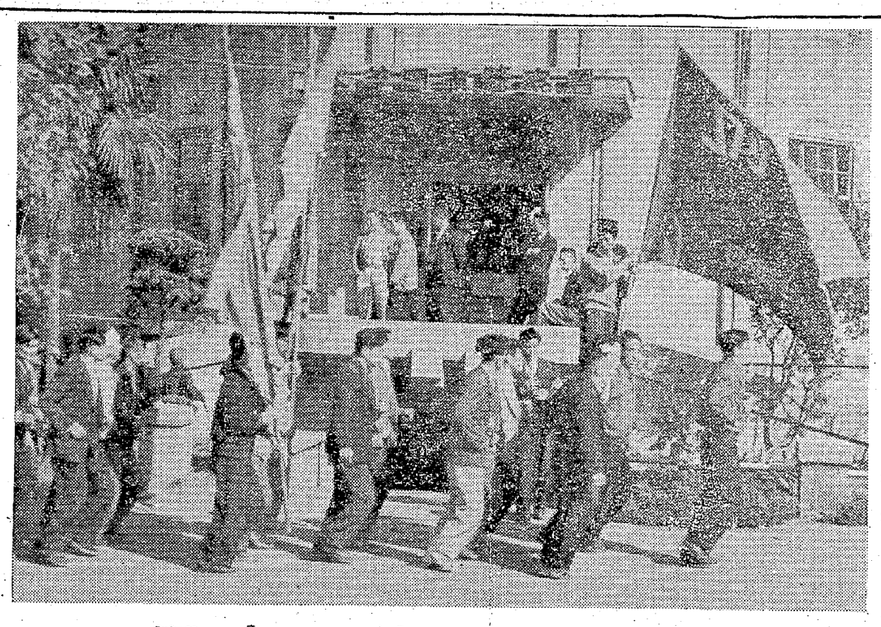
ピケ破りが起つた「ひさぎ橋」上で職員、使用者を阻止したこの位行過ぎのようであるが、これは憲法ではないが、使用者や職員は通行させべきである。

ピケ破りの様な状態が起つた。この人達は逆に就業する目的でなくて外へ出る様な状態であつた。なお出勤する職員に対し終局まで阻止した事実は匪人の証言によつてなり、また外部より来た職員を阻止した事は、あの当時鉱員や外部の者が交つていて、この見わけがつかない状態で被告人に責任はないとの理由で威力業務妨害は誤が構成しないので無罪であると述べている。

続いて威力行為の問題は川口某（職員）がガケより大門氏につき落された、として公訴になつているが、これは多数の人間が「カセギ橋」の様な狭い所で押し合う場合、ガケ下へ落ちる者もいるであろう。その当時は川口氏外数名が落ちている事が証言にある。例え大門氏が押したとしても、これはあの困難な状態の中からツキ落す意志がなかつたとは思えず、その意志がないものとして無罪である。従つて現状では閉鎖することに問題があり、只つ退職募集もあるので、その点を考慮し、協定成り以後適当な時期としたい。

組合側は闘争解決と同時に、平和な労使関係となるので、協定成立の日職場復帰「原職」とさせ、就労させるべきである。

会社は一方で退職募集をする一方で職場復帰はさせないということでは余り虫がよすぎる



11月16日
大牟田市署前で

闘いは続く

正しき者は勝つ

嘉穂事件の大門氏は無罪

十一月十九日午前十時より、福岡地裁一号法廷で佐藤判事係で昨年嘉穂炭鉱でのピケ隊の指揮をなした大門等氏（当時福炭労厚生部長、現九州炭労厚生部長）にかゝわる威力業務妨害と暴力行為の刑事裁判の言渡があつた。

判事は冒頭に「無罪を宣告」傍聴の炭労関係者の心と心が通じる喜びが傍聴席なる法廷にヒラメイタ。これは信じ合い、闘い抜いたものの喜びであつた。判決の内容を要約すると

小川組合長の代理で佐藤書記長（両名とも選挙幹部）が大衆の意志を無視した賃金協定は一応仮協定であつて、紛争が起れば解消されるものである。この協定が組合員大会で否決され闘争が継続されることになつて、小川組合長は闘争の継続と佐藤事務局長に帰組するよう、声明したが佐藤書記長は帰組しなかつた。これは一応帰組して事態の収拾を考えるべきであつた。以上の事由を考え、会社が仮協定に基づいて就業指令を出す事も考えられるが、無効になつた協定を破棄して就業を拒否し、ピケットを取ることが違法さはない。ピケットの方法は就業よりうとする者を阻止し獲得する事無罪の判決をうけた大門氏は次の如く感激を語つた。

眞實は勝利する　無罪の大門氏語る

私は炭労二十万組合員ならびに五十万の家族とともに、この喜び事を信じ労働者解放の先頭に立つています。これは私一人だけのことでなく、事件による私の無罪は三池、岩屋、吉川炭鉱における問題の正当性と勝利を意味するものと信じます。またこの裁判に対して組合員及炭鑛協の皆さんの物心両面の御支援に対して厚くお礼申上げます。私は今日のこの感激を忘れず、正しき者は必ず勝利する

反動も姿消す

闘う宮原地域分会

本所支部宮原地域分会の第三回定期総会は十一月七日夜六時半から宮原闘争で組合員百九十名中、出席百六十七名の圧倒的好成績によりひ開催、新役員の選出確認を行い九時四十分散会裏に終了した。

分会長　板井　正則　再選
副分会長　高野政次郎　再選
〃　池上　梅夫　新任

当日定刻前から続々と詰めかける組合員、家族とも騒荒し姿は一人も見えず、受付の行動隊員もプレントやハチ巻姿しに大童である。

六時四十分板井議長開会を宣し、全員起立の中にスクラムを組み、労働歌合唱後議長挨拶に始り、満場本部支部長の闘争経過報告後予定の闘争プログラムに従い役員改選に入る。数日前から民労系とも見られるべき人事系統の暗躍がなされていた事実からして日井分会のような事態でも、と一部では懸念されていた様であるが、身の締るような緊張した空気の中に不利を予測しつゝ一部反動分子も何時しか姿を消し、満場委員会の案を決定、組合員家族見送表に移る。

宮原の弾圧に抗して　我々の団結

〃　坂口　直行
中島美智子
えび原利之
亀山　久男
井上　政一

既成婦人会員に訴う　亀山　久男

紙付きとは

こゝで「団体協約保険選挙付金について」「三鉱連中闘へ激励電文」の際委員長の挨拶後、金員起立白ハチ巻姿もりゝしく労働歌合唱分会万歳の三唱により終了した。

活躍する老コンビ

この分会は役員会員二十九回の記録が示すように非常に活発で、炭鑛協結成に当り、会社の妨害を排除して、三池では二番目に誕生させた実績を持つているが、又分会長、副分会長金員揃つて今回の不当首切りの之上に乗せられた地域でもある。行動隊編成を遅早く終り現在教育と訓練に峠部は将来を賭けている様である。毎週二回の激励デモを板につき既成婦人会員の参加も目立ち理想的な地域分会の実現も近いと思われる。

本社の牙城とも云われた宮原地域において階級的組合意識の高揚したが、当日市長不在の為結論が出ず、二応当日の賃金百%支払うことを確約させ条件再会を約して引き上げた。

なお暴行現場には警官が見ておりながら、何らの処置をしなかつたことは、山ノ上クラブ事件、靈店長事件など労働者が一方的に不当弾圧をうけているのと対照し注目されている。

五〇%を目途

長期柔軟なる闘争を

宮川鑛男殿

十一月十三日三鉱連闘争委員長よりの企業に関する電話指示に基き三鉱連九州地方闘争委員会は、こゝに改めて文書により左記の通り指示するものである。

記

一、中央闘争の進展に即応する為十一月十七日一番方よりの出炭五〇%を目途せよ。

二、前一項の目的達成の為の戦術決定は、三池の闘争委員会又は戦術委員会に移譲する。

三、闘争は益々長期柔軟なる闘争を長期に継続してこそ、企業整備の闘いは勝ち得るという戦術で、中央の情勢の進展により、十一月十七日一番方より、出炭五〇パーセントの際委員長の挨拶後、これを採択、闘長閉会の挨拶後、金員起立白ハチ巻姿もりゝしく労働歌合唱分会万歳の三唱により終了した。

三鉱連九州地方闘争委員会
闘争委員長　池田利治
三池炭鉱労働組合闘争委員長

進前

最後の勝利を目指して

当り前の事をやるとすぐ、あの人は正直だとか、偉い等と言つて特別に注目されるのが現代の社会であり、何か當り前の事をやる事が特別變つた事でもしているかの様にみられ、且つは又仲々困難視されているものであるが、事實はそうであると云わざるを得ない。しからば何故その様な事が云われるかという事を考えてみると、それは正直だとか、偉いとかいう人それ自体が当り前の事をやつていないからだと云われても仕方なかろう。そして又、この様な部類に属する人々が何とこの世の中に多い事であろうかと

組合員や家族の人達は今回の企業整備の闘いには実に良く闘つている。しかし闘う事が當然の事であり、この闘いこそが正しい者が馬鹿をみない世の中を創る闘いであり、言葉を變えて云えば當り前の事をやつている人に、あの人は正直だ等と特別注目する様な人達をなくする闘いでもある。

三井の経營者はお前は良く眞面目に働く、ほんゝうに正直者だといつて、よく我々をこき使つたが、その眞面目だとか正直だとかいつていた者の正体がついに今回の企業整備の闘いでバクロされてしまつている。協約などはたゞの紙屑に等しい等と考えていた会社側は、天下御免の一方的首切りを強行した。しかしこの事は當り前の事をやらなかつたが為に、當り前の事をやつている組合側に、最後は押しまくられているのである。最初にも述べた様に眞面目とか正直とかいつていたのは三井の場合は三井の為のものであつたのであり、社会の為のものではなかつたのである。だからその様な事をいつていた者達が當り前の事をやれなかつたと云わざるを得ない。

では今後我々はどうして闘つたら良いかという問題になるがこれを一言にしていうならば組合員も家族もみんなが、今迄通り苦しい闘いではあつても、當り前のものを永久に持續する以外にはなかろうと考えて、相手が一時的にせよ我々の言分が解つたとはいえ、これは力の前の正直さであり、本心からのものではないという事をはつきりと胸の中に入れて置く必要がある前號のこの欄でも述べてあつた様に相手は誰であり、どんな階級の人間であるかという事は一時たりとも決して忘れる事は許されない。若しも我々が一時的な狀態を得意として、少しの油断でもあつたとするならば、相手は引込めたキバを再びむき出して飛びかゝつてくるであろう他人を差して正直者だ眞面目だという人を、我々が生きているこの社会より一人でもなくする抜き前進をつゞけよう。

投稿

氏名不詳　頑張れ

默否權を押し通す

「近ごろ来る奴は生意気かそ」と、然明りつけたのは、ユカタをまくり上げた五房の樵房長（樵房長とは留置場の各号室（房）の古参者で腕力のある人で、その室では一番の親分です。気に食わないことがあると腕力を振うことがあります。）の親分で現役のため出房中でした。私は默否權で何にも云わなかつたので警官が大分手こずり、入房手続に困難があつた様です。だからこの樵房長には私が生意気に見えたのだと思います。

然し、五、六日するとこの樵房長が現役のときなど、私のいた一房の窓に来て、「おいおいやないか、辛抱せい」と元気づけてくれる様になりました。というのは、何回も入房したことのある、この樵房長は警察の不当さをよく知つており警察と闘う者には共鳴を感じるのだと思います。

同房には樵房長でとロボン好のキちゃんという青年、大野下の大工の若者。下獄の再審の押證の嫌疑で前科不犯の人など忘れられぬ人達です。

私は今年の四月、選挙場から坑外選挙に人事係長宮木加来係長などの陰謀で追出されたことがあります。その時私渡する三川のKさんが、「労働運動者はペン〳〵筆です行つた所で闘をまきなさい」と教えて下さいました。私は同房の人達にも出来るだけ組合の話をする様努めました。

そしたら樵房長から「明日、やつてきて「おい男じゃないか。俺も二ケ月間独房にいたことがある。赤旗の歌でも歌わんの」私は「ほんとにすみません」とベコンと新聞。しかし、私の心には怒い炎えるものがわいて来ました。

民衆の旗　赤旗は—

そして私は固い団結の力によつて保釈を勝ち取りました

先頭に闘つている炭鑛協の団結が、平和な生活をのぞむ団結の力が、更には日本中の働く人々の団結が、平和を望む世界の人民の結合が。吉田が管理する牢獄の中で、民衆の旗、赤旗の歌をひろめるのだ

民衆の旗、赤旗、吉田、アメリカ警察隊本部一大牟田市警吉田の管理する牢獄の中で！赤旗の歌が！誰が教えたのでしょう。

十五人の同志、いやもつと前に社労共の階級政党員諸君いや、そうではないのだ。三池炭労の組合員。主婦。その

君記
田手
池の

ペンペン草である私は野に放たれました私は種をまきちらします。私の種は「アメリカと吉田を倒し、戦争の準備をしないことが働く者の幸福の近道」だという種です。進んだ組合員の皆様、炭鑛協の皆様、種をまき育て上げましょう。沢山の人達が私達と同じ考えで活動するなら、その成果は期して待つべきものがあると考えます。敵はアメリカと吉田一味です。敵は国際的に結んでいます。私達も日本中の働く人達と手を結び更に世界中の働く人と団結して敵の陰謀を粉砕しましょう。

暴力追放に自勞立上る

二十日のひるすぎ、組合本部前に大牟田自由労組員約六百人が赤旗を先頭にワッショイ、ワッショイ両面の御支援に対して厚くお礼申上げます。私は今日のこの感激を忘れず、正しき者は必ず勝利する事を信じ労働者解放の先頭に立つて闘う事を誓います。

組合員全員二千五百名が、一暴力ふるう者陰をやめさせろ　と同日朝職場放棄して市役所におしかけ約四時間の交渉と抗議のあと「応援ありがとう」と異例のデモ訪問となつたわけ。

この事件は十三日、助監督が「雨の中でも仕事をつゞけろ」と押しつけたのを、「やらぬ」とハネかえしたところ、某組合員に暴力をふるつて来た。

組合では直ちに告訴手続きをとるとともに、暴力監督をやめさせよ」と十六日、建設部長と交渉したがラチがあかず、ついに市長に賠償、謝罪方を要求して約四時間の乗り込みとなつた。これに対し三鉱労組からもクビキリ闘争時のお礼のため、事態収拾について融通、また社共両党からも応援があつたが、当日市長不在の為結論が出ず、二応当日の賃金百%支払うことを確約させ条件再会を約して引き上げた。

なお暴行現場には警官が見ておりながら、何らの処置をしなかつたことは、山ノ上クラブ事件、靈店長事件など労働者が一方的に不当弾圧をうけているのと対照し注目されている。

組合千一夜（第七十話）

忘れることの出來ない暴言

古賀　進作
久慈　悠一画

拘留理由開示の翌日二十七日はな暴言をされるんだ」と私の目は平常同房が弱つているのに、久留良心の二つの念は相手の目をニラみより大牟田まで往復ジープのバンだ。いつか私の眼には涙がうかウンドが胃腸に悪かつたのだ。起んでいた。私達はどんな罪をおかすような見たくもなかつた。九時頃だと思うが、呼び出されたので診察してもらうのだなあと思つた。運れて行かれた部屋には二十四、五日頃訊問された福岡の事務官が坐つて居た。

私は看守に診察はして貰ひますかと尋ねた。しかし看守は「オツしつとるけん。お前がひとう悪かつたなら、早上来てもらわにやならんたい」と云つた。

私は房へ帰つて休んでいた。一時間もたつた頃だつたろうか、診察をうけた。医師はたゞして気になるなんたいと思つた。

その日夕方、夕食の差入弁当を少しでも食べなければいけないと思つた。目をつむつて呑みこむようにして一口…二口…とハシをたてたその時ドアが開いて呼びだされた事務官の前へ坐らせられた。「明日まで来ても、あんたが応じられぬようではこまるから」と云われたが、私は「識意をもつて来て下さい、応じられるだけは応じますから」と答えた。

事務官は「とにかく明日来るから」と云われたから私は来るのはこれで下さつて治療ですが、以前もいつて来た陰には分会長以下各役員の労働歌合唱後議長挨拶に始り、満鉄の結束が他地域に見られぬ躍動する分会を作りあげて居るが特筆すべきは池上、今村の両毛コンビが分会活動に貢献している事を見逃してはならぬ。

ノウジウサンとかいう薬を三服もらつて房へは入つた。

その日夕方、夕食の差入弁当を厨部へ殿々と近づいて行つた。目の前に渦が沢山巻き始めた。段々物が見えなくなる。…

確かに私は死んだのだ。時間にしてどれだけか解らない、自然と意識を回復して物がぼんやり見えた時、私は生きていたことに気がつき、急に悲しくなつた。私の身辺にいる者は、みな敵のように思えた。

その時、山本君が恋しくなつた。悲しく生れて始めてだつた。大きな声で泣きながら、山本に逢いたいと叫びつゞけた。事務官を始め看守一同は、私をあやし薬を呑ませようとしたが、私はなおも大きな声で山本に逢いたいと泣きつゞけた。

山本も私に同情の念にかられて、古賀、吉賀と大きな声で泣き叫げた。久留米拘留所全部にひゞいたであろう。

◇　◇

この手記は、古賀さんが不自由な獄中で、差入れのハミガキ粉袋やクスリの包み紙に当日の怒りを書きつゞつたものです。

冬に備えて
紳士服・オーバー・学生服
レインコート・メリヤス類
カッター・シャツ・肌着
別誂御註文　服承ります
良品　正価
ヤクオーイン
栄町　TEL 2130.2331

寝具の事なら断然安い
人生の1/3はフトンの中
地球印脱脂綿
だるまわた　三池寝具（銀星北側）
大牟田市有明町本通り　TEL4017

類似品に御注意　包装商標（四山漬）をどうぞ
農林大臣賞受領
西日本名産百選入選
四山漬
今村食品　小倉部　四ツ山県　山口　TEL6329
大牟田市三川町　TEL6054.6330　出張所　京町　TEL3923

三鑛勞組三川支部指定
技術信用
靴はミッキー
チケット券大歓迎
本店　大牟田市有明町　TEL2471
支店　荒尾市四ツ山中区　TEL323